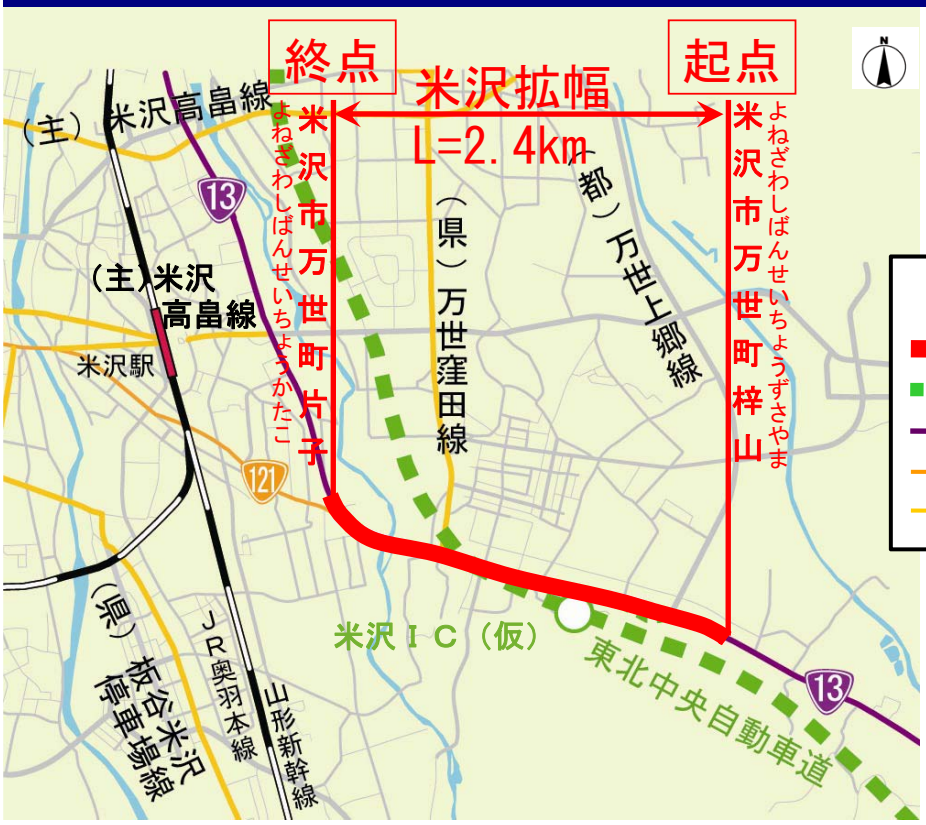
一般国道13号　米沢（よねざわ）拡幅



凡例		
道路事業再評価対象箇所	供用区間	
	整備中区間	
高規格幹線道路	供用区間	
	事業中区間	
	基本計画及び予定路線区間	
地域高規格道路	供用区間	
	事業中区間	
	計画路線及び候補路線	
直轄国道		

一般国道13号　米沢（よねざわ）拡幅



凡　例

- 事業評価区間
- 高規格幹線道路（事業中）
- 直轄国道
- 補助国道
- 県道

一般国道13号　米沢（よねざわ）拡幅

【評価要件：事業採択後１０年経過】

○事業の目的
- 東北中央自動車道米沢ICへの円滑なアクセス確保
- 交通混雑の緩和・交通事故の減少
- 周辺の各種開発計画の支援

○延　　長　：　Ｌ＝２．４ ｋｍ

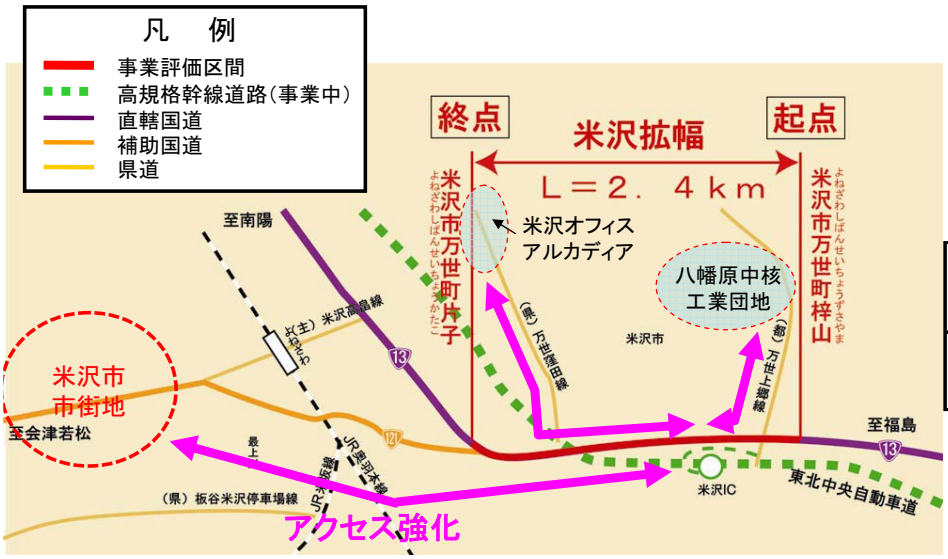
○事　業　費　：　６０億円

○事　業　化　：　平成１１年度

○進　捗　率　：　５８％

東北中央自動車道米沢ICへの円滑なアクセス確保

・山形県南部の拠点都市米沢市や八幡原中核工業団地といった開発拠点から米沢ＩＣへのアクセス強化を図る。



米沢IC出入り交通量 6700台/日	
内訳	山形方面　1400台/日
	福島方面　5300台/日

資料：山形河川国道事務所

▲東北中央自動車道（福島～米沢）開通後の米沢ICの出入り交通量
※平成42年推計値

交通混雑の緩和

・隣接区間と比べて高い混雑度合いを緩和する必要がある。

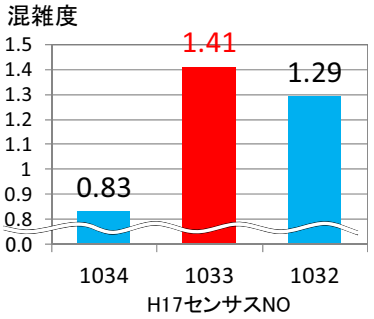


凡　例
- 事業評価区間
- 高規格幹線道路(事業中)
- 直轄国道
- 補助国道
- 県道



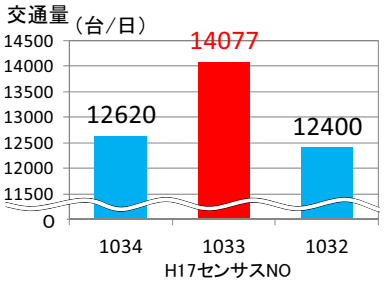
資料：山形河川国道事務所

▲米沢市万世町桑山地区の混雑状況



資料：H17道路交通センサス

▲米沢拡幅と隣接区間の混雑度

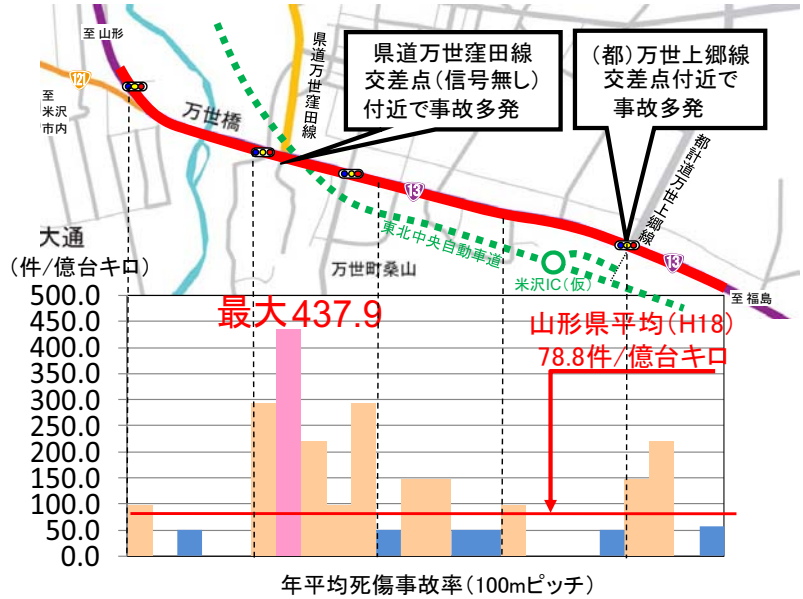


資料：H17道路交通センサス

▲米沢拡幅と隣接区間の交通量

交通事故の減少

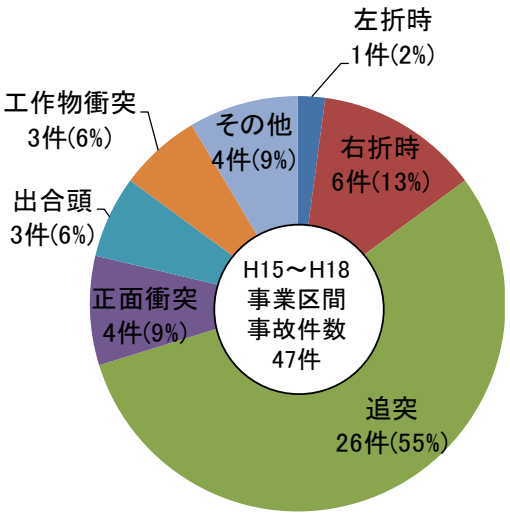
・米沢拡幅区間は山形県平均（Ｈ１８）と比較して死傷事故率が高く、また、事故類型では追突事故の割合が高く、交通安全の確保が必要である。



年平均死傷事故率(100mピッチ)

資料：事故統合データベース(H15～H18)

▲事業区間の100mピッチの死傷事故率

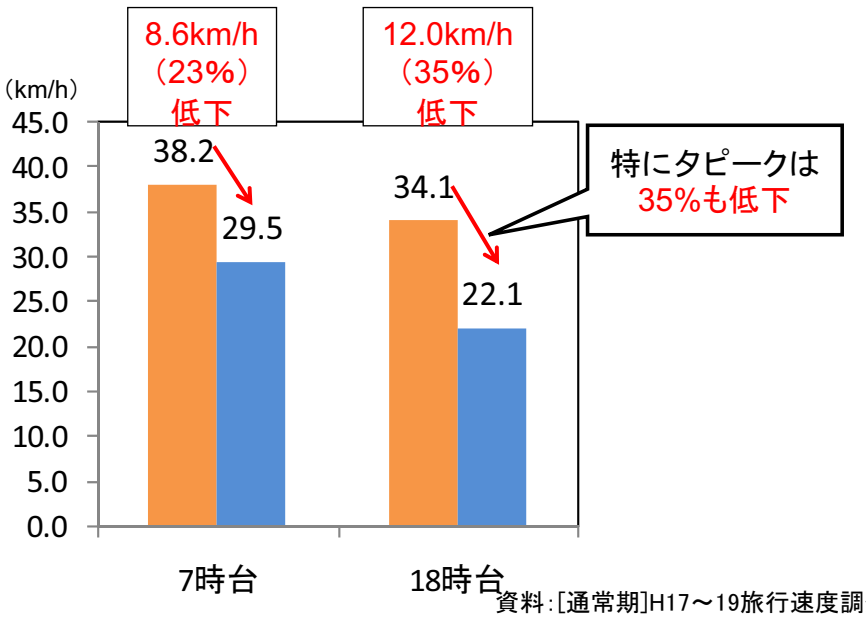


資料：事故統合データベース(H15～H18)

▲事故類型別の事故件数

冬期交通環境の改善

・特別豪雪地帯である当該区間では、雪による視界不良や路面状況の悪化により、冬期の旅行速度が著しく低下しており、冬期交通環境の改善が必要である。



▲通常期・冬期の旅行速度比較

資料：[通常期]H17～19旅行速度調査
[冬期]H17旅行速度調査
（H17センサス区間1033）



資料：山形河川国道事務所

▲冬期における混雑状況

周辺の各種開発計画の支援

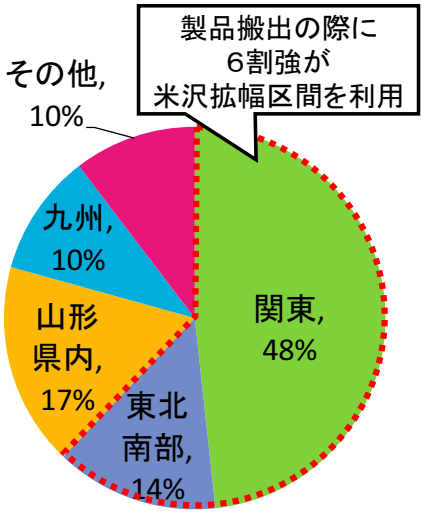
・周辺には、米沢オフィスアルカディア（業務拠点：事務所・研究所等）、八幡原中核工業団地（製造品生産拠点）があり企業立地の促進、物流支援が図られる。

米沢市は
・製造品出荷額が7,331億円(H18)であり、東北第４位
・情報通信機器(IT関連)の出荷額(H18)が東北第１位、全国第４位



▲八幡原中核工業団地及び米沢オフィス・アルカディア

資料：ものづくりのまち米沢
((独)中小企業基盤整備機構・山形県・米沢市)



▲工業団地立地21社の搬出先

資料：工業団地アンケート(H20. 10調査)

事 業 の 投 資 効 果

○費用便益比（B／C）
※下表の数値は、基準年（平成20年）における現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

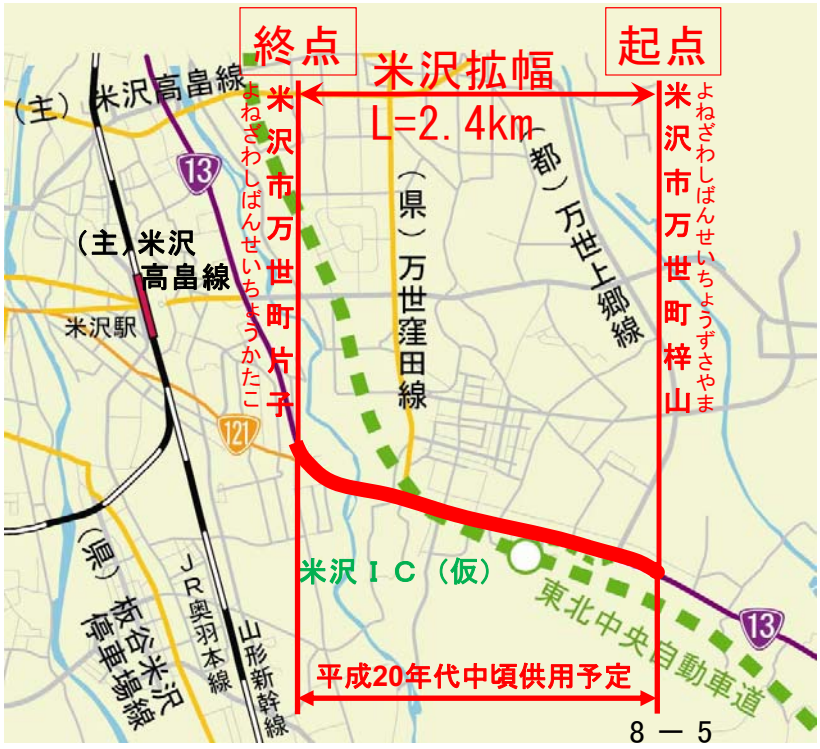
費用C（現在価値）	27億円
便益B（現在価値）	75億円
費用便益比　B／C	2．8

【全　線】 費用便益比　B／C　　1．2

計画交通量（平成42年度）　・米沢拡幅＝14，000台／日

供用予定等今後の事業の見直し

・米沢市万世町梓山～米沢市万世町片子間（L＝2．４km）については、平成２０年代中頃の４車線化を目標に事業推進を図る。



凡　例
- 事業評価区間
- 高規格幹線道路（事業中）
- 直轄国道
- 補助国道
- 県道

対 応 方 針 （ 原 案 ）

○早期整備の必要性が高い。
- 東北中央自動車道米沢ICの円滑なアクセス確保
- 交通混雑の緩和
- 周辺の各種開発計画の支援

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施